

drobo

導入紹介

GRID CO.,LTD 様

複数のデザインを同時に動かすクリエイターも  
信頼性の高いDroboにデータを託す。



Drobo 5D

## 導入の要件

- 大量のデータを一元的に格納
- バックアップ用としても適した高い信頼性
- セットアップの容易さとわかりやすい表示
- デザインワークを止めない処理速度


 導入後の効果

- 過去～現在の**全データをフルに格納**
- Thunderbolt対応による**高速転送**
- 大切なデータの**バックアップ用途にも活用**
- 簡単設定と日本語表示**がもたらす安心感
- 将来のデータ増量に自在に対応できる**拡張性**

大量のデータを扱うプロフェッショナルたちの仕事を支える「Drobo」。写真や図版などの素材を駆使して読者の目と心を惹きつける書籍デザインの世界でも、その秀でたパフォーマンスと信頼性は高く評価されている。東京・渋谷にオフィスを構える制作プロダクション・GRIDも、俊敏なデザインワークと貴重なクリエイティブデータの保管のために「Drobo」を活用している。

### 容易なセットアップ、日本語表示に加え、洗練された筐体デザインに惹かれDroboを導入

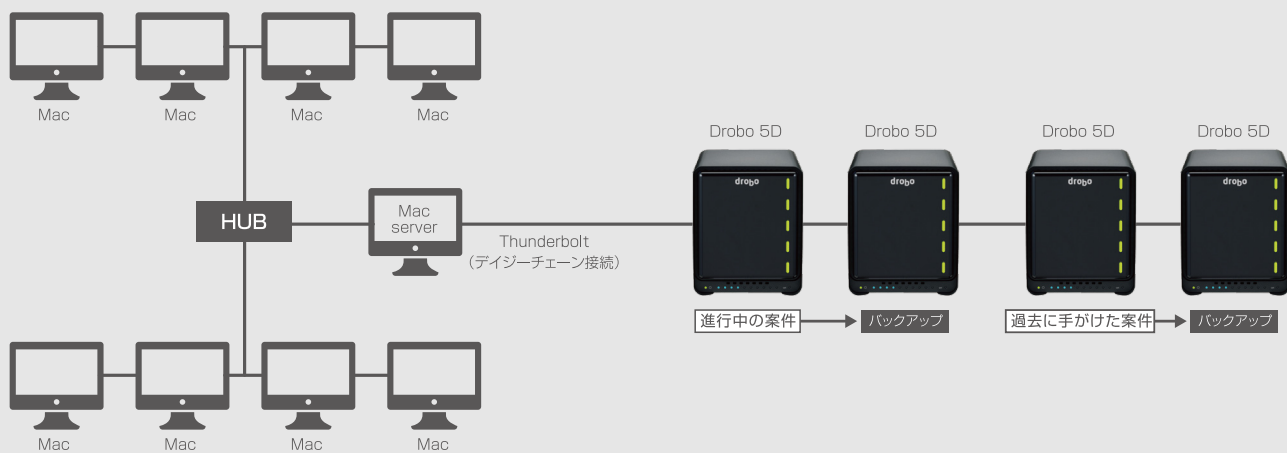
GRIDは、科学、インテリア、料理、旅、ファッションといった幅広いジャンルの書籍を中心に、情報誌やカタログなどのデザイナーを手掛ける精鋭のクリエイティブ集団である。代表の八十島博明氏をはじめ8名のスタッフ全員がデザイナー。一冊あたりのデータが数GBにも及ぶ出版物のデザインワークを、同時に数件進行させることも少なくない。現在進行中の案件の

データ量だけでも約4TB。さらに、保管が必要な過去のデータも含めれば、その総量は計り知れない。大容量のストレージは必須のツールである。

かつては数台の外付けHDDにデータを振り分けて保存していたが、データの保護ができて尚且つ一元管理できるストレージの導入を検討。ただし、「ITの特別な知識やスキルがあるわけではなく、自分でRAIDを組むようなことはできません。そこで、ネットワークにつなげばすぐに使えるストレージを秋葉原で見つけて使い始めました」と八十島氏は話す。ところが、その製品には思わぬ落とし穴があった。

「アプリケーションがすべて英語表記でした。初期設定はできても、トラブルが生じたら素早く対処する自信がありません。実際、RAID構成に問題が発生し、アクセス不能になることがしばしばあり、本業の手を止めてその修復に四苦八苦したものです。そこで、セットアップが容易なことはもちろん、日本語表示で信頼性の高いストレージを改めて探したところDroboと出会ったのです。筐体のデザインも洗練されているし一目惚れでした」(八十島氏)。

## 【システム概要】



## Droboの信頼性を高く評価し、 貴重なデータのバックアップにも活用

GRIDでは、現在4台の「Drobo 5D」が稼働している。進行中の案件のデータを格納するストレージと、そのバックアップ用として1台ずつを使用。もう2台は、過去に手掛けた案件のデータの保管と、そのバックアップのために使っている。

「Droboなら1つのディスクにトラブルが生じてても、残ったディスクに記録されたデータをリビルドすれば、データを保護された状態に戻せることは理解しています。その上で、もう1台のDroboをバックアップ用に使っているのです。絶対に損失してはならないデータなので、念には念を入れてのことです」と八十島氏は説明する。信頼性の高いDroboであれば、貴重なデータを安心して託すことができるため、バックアップ用にも適しているということなのである。

そのような厳格なバックアップ体制の背景には、同社ならではの作業スタイルが存在する。一般的なやり方は、スタッフがDroboから自分のパソコンにデータを読み込んでデザイン処理し、区切りの良いところでDroboにデータを再保存するというもの。だが、GRIDではDrobo上のデータに各デザイナーが直接手を加え、その場で再保存する。だから、パソコン側にはデータが一切残らない。

「1つの案件に複数のデザイナーが関わる場合、完璧にコンセンサスをとらないと他のスタッフが制作した最新版のデータに、別のデータを上書きしてしまう恐れがあります。全員がDrobo上で作業をすれば、そこに格納されたデータこそが常に最新版となるのでトラブルを回避できるという考え方です」と八十島氏は説明する。

## 全スタッフが1台のDroboに同時アクセスしても、 ストレスを感じさせないThunderboltの実力

デザイナーたちは、湧き出るアイデアを瞬時かつ連続的にクリエイティブに変換していく。それを支援するシステムには、彼らの意図に即応する高度なパフォーマンスが求められる。Drobo1台にスタッフ全員がアクセスし、異なる書籍のデザインを個別に進めることも多い。数GBの案件を

複数同時に扱う状況では処理速度の低下も考えられるが、「ストレスを感じることはありません」と八十島氏は話す。これも、Thunderbolt対応でデータの高速転送を可能にする「Drobo 5D」の恩恵と言える。

4台のDroboはデジチェーンでサーバーに接続されている。デジチェーンの場合、配線や接続管理が効率的に行える反面、1本のケーブルに複数のデバイスのデータが載るため速度が低下することも考えられるが、この点もThunderboltのパフォーマンスがカバーしている。

進行中の案件を扱うDroboとそのバックアップ用のDroboには4TBのHDDをそれぞれ5本搭載。過去の案件用の2台には、3TB×5本を搭載している。当然ながらこれからもデータは増え続けていくわけだが、「ストレージの基本構成は出来上がりましたから、今後はHDDを容量の大きいものに差し替えれば容易に対応していけます。以前のストレージは、同じ容量のディスクを予めスロット分用意する必要がありましたが、Droboなら異なる容量のディスクを自在に搭載できるので、必要な時に必要な容量だけ追加すれば済みます。初期投資を抑えることができただけでなく、システムの増強に費やしていた労力を軽減し、本業に集中できる環境も整ったと言えます」と八十島氏。

3人のデザイナーからスタートし、その後はスタッフ数も手掛ける案件の量も着実に増え続けてきたGRID。その発展をこれからもDroboは支えていく。



GRIDでは旅行ほか多様なジャンルの書籍のデザインを手掛ける。写真や図版を多用し、200ページを超えるものも少なくない。



Hiroaki Yasojima

八十島 博明 様

1962年 東京生まれ。桑沢デザイン研究所卒業。  
森啓デザイン研究室で科学雑誌、PR誌等を担当後92年GRID設立。  
桑沢デザイン研究所非常勤講師

〈取材協力先〉GRID CO.,LTD 様

〈URL〉<http://www.grid.gr.jp/>

取材時期：2017年7月

## お問い合わせ

株式会社プリンストン URL <http://www.princeton.co.jp/> E-mail [dcs-info@princeton.co.jp](mailto:dcs-info@princeton.co.jp)

本社  
〒101-0032  
東京都千代田区岩本町3-9-5 K.A.I.ビル3F  
TEL 03-3863-7131(代) FAX 03-3863-7451

大阪支店  
〒556-0011  
大阪府大阪市浪速区難波中2-10-70 パークタワー12F  
TEL 06-6648-7111 FAX 06-6648-7113

福岡支店  
〒812-0037  
福岡県福岡市博多区御供所町1-1 西鉄祇園ビル3F  
TEL 092-281-3355 FAX 092-281-3366

PRINCETON